

		諸 外 国 の 接 近	幕 府 の 対 応
(寛政の改革)	松平定信	1792 年 ラ(ッ)クスマン [ロシア使節] が根室に来航 → エカチェリーナ2世の命で、漂流民の大黒屋光太夫を送還 →ロシア漂流記を桂川甫周が『北槎聞略』に記録	1798 年 近藤重蔵の蝦夷地派遣 (最上徳内と共に派遣) 択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄(1799) → [箱館奉行] 設置(1802)
	家齊	1804 年 レザノフ [ロシア使節] が長崎に来航 → ラクスマンに交付した信牌 (長崎への入港許可証) を持参 1808 年 フェートン号事件 (イギリス) ナポレオン戦争の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号が オランダ船を追って長崎に侵入→松平康英 [長崎奉行] が自害 →★イギリス船が宝島 (薩摩)・大津浜 (常陸) に上陸(1824) →	1806 年 文化の撫恤令 (文化の薪水給与令) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える ★西蝦夷地直轄(1807) → [松前奉行] 設置(1807)
(天保の改革)	水野忠邦	1811 年 ゴロー(ウ)ニン事件 (ロシア) 国後島を測量中のゴローウニンを抑留 ★『日本幽囚記』 →ロシアは報復として高田屋嘉兵衛を抑留 (のち両者釈放) 1837 年 モリソン号事件 (アメリカ) → モリソン号が漂流民の送還・日本との通商を求めて来航 →浦賀 (相模)・山川沖 (薩摩) で砲撃	1808 年 間宮林蔵の樺太調査 樺太が島であることを確認 (間宮海峡を発見) 無二念打払令 (異国船打払令) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる 1839 年 蛮社の獄 (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) 高野長英『戊戌夢物語』 渡辺華山『慎機論』 小関三英 (連坐を恐れて自殺)
	家慶	1840 年～アヘン戦争 (イギリスVS清) 1842 年 南京条約 (清はイギリスに香港を割譲) →	1841 年 軍事改革 (高島秋帆を招き西洋砲術を採用) 1842 年 天保の薪水給与令 (文化の薪水給与令に戻す)
家正弘	阿部正弘	1844 年 オランダ国王ウィレムⅡ世の開国勧告 1846 年 ビッドル [アメリカ東インド艦隊司令長官] が浦賀来航 ↓ 1853 年 ペリー [アメリカ東インド艦隊司令長官] が浦賀来航 → (嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦=サスケハナ号) を率いて開国を要求 →久里浜に上陸し、フィルモア [米大統領] の国書を提出 ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問 ↓ 1854 年 ペリーが軍艦7隻を率いて再来航 → ★『日本遠征記』(ペリー艦隊の日本遠征記録)	[安政の改革 by 阿部正弘 [老中]] ①人材登用 徳川斉昭 [海防参与]・川路聖謨 [海防掛・勘定奉行] ②国防強化 大船建造禁 (武家諸法度の規定) の緩和 江川英龍が伊豆蓑山に反射炉・江戸品川沖に台場を築造 ③洋式訓練 講武所 (江戸で武術訓練)・海軍伝習所 (長崎で海軍訓練) ④洋学研究 洋学所(1855)→著書調所(1856) (のち洋書調所→開成所) ★蛮書和解御用 (1811年に設置した蘭書翻訳機関) を強化
	家定	(1853年) プ(ウ)チャーチン [ロシア使節] が長崎に来航 → ★安政の大地震 (1855年に江戸に発生した地震→「鯨絵」が多数描かれる) 1856 年 ハリス [アメリカ駐日総領事] の下田着任 1856 年 アロー号事件 (第二次アヘン戦争の契機となった事件) → 1858 年 天津条約 (清が英・米・露・仏と結んだ講和条約)	1854 年 日米和親条約 (→のち、英・露・蘭とも締結) ①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②難破船や乗組員を救助する ③下田・箱館の開港 (領事の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的最恵国待遇を与える 1855 年 日露和親条約 (下田で川路聖謨が締結) ①下田・箱館以外に、新しく長崎を開港 ②日露の国境は択捉島・得撫島の間 (樺太は両国雑居) 1858 年 日米修好通商条約 (→のち、英・露・蘭・仏とも締結) ★安政の五カ国条約 (米・英・露・蘭・仏との修好通商条約)
家茂	井伊直弼	[政局の転換]	
	井伊直弼 (天老)	〔南紀派〕 徳川慶福 (紀伊藩主) 井伊直弼 (彦根藩主) のち天老に就任(1858) VS 〔一橋派〕 徳川慶喜 (徳川斉昭の子) 徳川斉昭 (前水戸藩主) 松平慶永 (越前藩主) 島津斉彬 (薩摩藩主) 1858 年～安政の大獄 (井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) 橋本左内 (越前藩士)・吉田松陰 (長州で松下村塾を開く) 頼三樹三郎 (頼山陽の子)・梅田雲浜 (若狭小浜藩士) ↓ 1860 年 桜田門外の変 (尊攘派の水戸脱藩士らが井伊直弼を暗殺)	①堀田正睦 (老中) が通商条約調印の勅許要求→孝明天皇が拒否 ↓ ②井伊直弼 [天老] が無勅許のまま調印 (違勅調印) ①神奈川 (→横浜)・長崎・兵庫 (→神戸)・新潟の開港 ②江戸・大坂の開市 ③通商は自由貿易とする ④開港場に居留地 (外国人の居住する地域) を設ける ⑤領事裁判権 (治外法権=外国人が在住国の裁判を受けない) 協定関税制 (関税自主権がなく両国の協議で関税率を決定) 1860 年 日米修好通商条約の批准書交換 ホー・ハタン号 (米 艦) = 新見正興 [外国奉行] 咸臨丸 (随行艦) = 勝義邦 [海舟] [幕臣]

[B] 貿易の開始

貿易の開始

- ①貿易開始 1859 年～
- ②貿易形態 居留地貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)
- ③貿易港 1 位＝横浜・2 位＝長崎・3 位＝箱館
- ④貿易相手 1 位＝イギリス・2 位＝フランス
★アメリカは南北戦争で後退
- ⑤輸出品 1 位＝生糸・2 位＝茶・3 位＝蚕卵紙
★蚕卵紙はイタリア・フランスにおける蚕病の流行が背景
- ⑥輸入品 1 位＝毛織物・2 位＝綿織物

[産業の発達・衰退]

発達＝製糸業 (マニファクチュア経営が発達→生糸を輸出)
衰退＝絹織物業 (原料の生糸不足が原因)
綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

貿易の問題点

[大幅な輸出超過(問題点①)]

生産地と結びついた在郷商人が問屋を通さず、
直接商品を開港場に送る→江戸・国内の品不足＝物価高騰

1860 年 五品江戸廻送令 (重要輸出 5 品の江戸への回送を命じる)
五品＝雑穀・水油・蠟・呉服・生糸



農村(在方)を拠点とする在郷商人 (諸商人) が江戸(御府内)を通さず
開港場神奈川(横浜)へ商品を輸送
↓
江戸などで品不足により物価高騰
→まずは江戸への商品輸送を命令
＝五品江戸廻送令(1860)

[金銀交換比価の相違(問題点②)]

金銀比価＝日本 (金 1 : 銀 5) ⇔ 外国 (金 1 : 銀 15)
→大量の金貨が流出

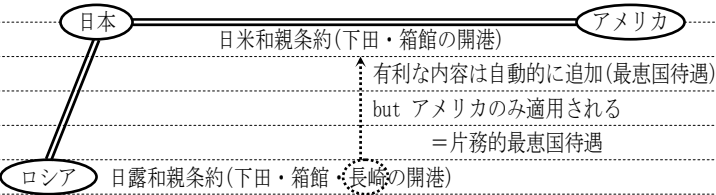
1860 年 万延小判铸造 (金流出防止のため悪貨铸造)
貨幣の価値が下落したため物価高騰

[尊王攘夷運動(排外的政治運動)]

- 1860 年 ヒューズケン (総領事ハリスの通訳) 暗殺
- 1861 年 東禅寺事件
↓
水戸藩浪士が江戸高輪のイギリス仮公使館を襲撃
- 1862 年 イギリス公使館焼き打ち事件
高杉晋作らが品川御殿山のイギリス公使館を襲撃

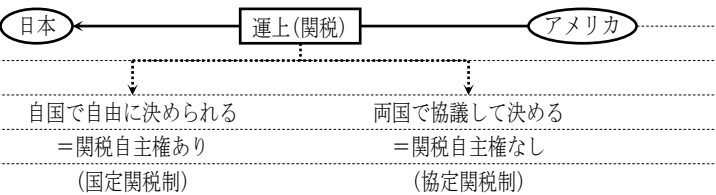
[NOTE]

<最惠国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、
第三国に与えている最も恵的な待遇と同等の待遇を与えること)>



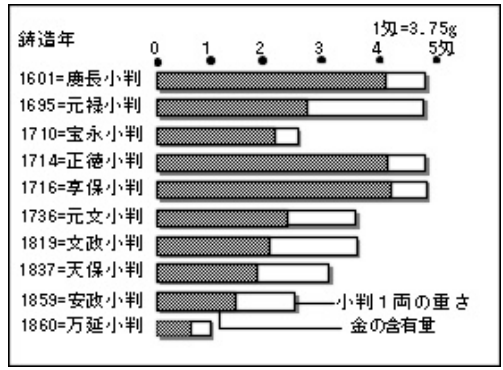
<協定関税制>

品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載
輸入関税率＝平均 20%→のち 5% by 改税約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品＝0% (衣服・家財など)・5% (食糧など)・35% (酒類)・20% (その他)
輸出品＝5% (輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)



[A] 欧米列強の接近

諸 外 国 の 接 近		幕 府 の 対 応	
(寛政の改革)	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → 1798 年 _____ の蝦夷地派遣 (最上徳内と共に派遣) _____ の命で、漂流民の _____ を送還 → ロシア漂流記を _____ が『 _____ 』に記録	島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄(1799) → [_____ 奉行] 設置(1802)	
	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → _____ 年 _____ (_____) ラクスマンに交付した _____ (_____ への入港許可証) を持参 (文化3年) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える 年 _____ 号事件 (イギリス) ↓ _____ の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号が _____ 年 _____ の樺太調査 _____ 船を追って長崎に侵入 → _____ [_____ 奉行] が自害 → ★イギリス船が宝島 (薩摩)・大津浜 (常陸) に上陸 (_____) → _____ 年 _____ が島であることを確認 (_____ を発見) _____ 年 _____ 事件 (ロシア) (文政8年) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる _____ 島を測量中のゴロウニンを抑留 ★『 _____ 』 → ロシアは報復として _____ を抑留 (のち両者釈放)	_____ 年 _____ (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) _____ 『 _____ 』 _____ 『 _____ 』 _____ (連坐を恐れて自殺)	
(大御所時代)	年 _____ 号事件 (アメリカ) → _____ 年 _____ モリソン号が漂流民の送還・日本との通商を求めて来航 → _____ (相模)・山川沖 (_____) で砲撃	_____ 年 _____ (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) _____ 『 _____ 』 _____ 『 _____ 』 _____ (連坐を恐れて自殺)	
	1840 年 ~ _____ (イギリス VS 清) _____ 年 _____ (清はイギリスに _____ を割譲) → _____ 年 _____	1841 年 軍事改革 (_____ を招き西洋砲術を採用) _____ 年 _____ (文化の薪水給与令に反す)	
(天保の改革)	_____ 年 _____ 国王 _____ の開国勧告 _____ 年 _____ [アメリカ東インド艦隊司令長官] が _____ 来航 ↓ _____ 年 _____ [アメリカ _____ 艦隊司令長官] が _____ 来航 → (嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦 = _____ 号) を率いて開国を要求 → _____ に上陸し、 _____ [米大統領] の国書を提出 ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問	[_____ by _____ [老中]] ①人材登用 _____ [海防参与]・ _____ [海防掛・勘定奉行] ②国防強化 大船建造禁 (武家諸法度の規定) の緩和 _____ が _____ に _____ ・江戸品川沖に _____ を築造 ③洋式訓練 _____ (江戸で武術訓練)・ _____ (長崎で海軍訓練) ④洋学研究 _____ (1855) → _____ (1856) (のち _____ → _____) ★ _____ (1811年に設置した蘭書翻訳機関) を強化	
	1854 年 ペリーが軍艦 7 隻を率いて再来航 → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) ★『 _____ 』(ペリー艦隊の日本遠征記録)	①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②艦破船や乗組員を救助する ③ _____ の開港 (_____ の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的 _____ を与える	
	(1853 年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航) → 1855 年 _____ (_____ で川路聖謨が締結) ★ _____ の大地震 (1855年に江戸に発生した地震→「鯨絵」が多数描かれる) 1856 年 _____ [アメリカ駐日 _____] の _____ 着任 ①下田・箱館以外に、新しく _____ を開港 ②日露の国境は _____ 島・ _____ 島の間 (_____ は两国雑居) 1856 年 _____ 事件 (第二次アヘン戦争の契機となった事件) → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) 1858 年 _____ (清が英・米・露・仏と結んだ講和条約) ★ _____ (米・英・露・蘭・仏との修好通商条約)	① _____ [老中] が通商条約調印の勅許要求 → _____ 天皇が拒否 ② _____ [_____] が無勅許のまま調印 (_____) ① _____ (→ _____)・ _____ (→ _____)・ _____ の開港 ② _____ の開港 ③通商は自由貿易とする ④開港場に _____ (外国人の居住する地域) を設ける ⑤ _____ (治外法権 = 外国人が在住国の裁判を受けない) _____ (関税自主権がなく両国の協議で関税率を決定)	
[政局の転換]		1858 年 ~ _____ (井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) _____ (越前藩士)・ _____ (長州で _____ を開く) _____ (頼山陽の子)・ _____ (若狭小浜藩士) _____ 年 _____ (尊攘派の _____ 脱藩士らが _____ を暗殺)	
[_____ 派] [_____ 派] _____ (紀伊藩主) _____ (徳川斉昭の子) _____ (_____ 藩主) _____ (前水戸藩主) _____ (_____ 藩主) _____ (越前藩主) _____ (_____ 藩主) のち _____ に就任(1858) _____ (薩摩藩主)		1860 年 日米修好通商条約の批准書交換 ホー・ハタン号 (米 艦) = _____ [_____ 奉行] _____ (随行艦) = _____ [幕臣]	

[B] 貿易の開始

貿易の開始

- ①貿易開始 _____ 年～
②貿易形態 _____ 貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)
③貿易港 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
④貿易相手 1位= _____ ・2位= _____
★アメリカは _____ で後退
⑤輸出品 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
★蚕卵紙は _____ における蚕病の流行が背景
⑥輸入品 1位= _____ ・2位= _____

[産業の発達・衰退]

発達=製糸業 (_____ 経営が発達→ _____ を輸出)
衰退=絹織物業 (原料の生糸不足が原因)
綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

貿易の問題点

[大幅な輸出超過(問題点①)]

生産地と結びついた _____ が問屋を通さず、
直接商品を開港場へ送る→江戸・国内の品不足=物価高騰

_____ 年 _____ (重要輸出5品の江戸への回送を命じる)
五品= _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____



_____ (在方)を拠点とする _____
(_____)が _____ (御府内)を通さず
開港場 _____ (_____)へ商品を輸送
↓
江戸などで品不足により物価高騰
→まずは江戸への商品輸送を命令
= _____ (_____ 年)

[金銀交換比価の相違(問題点②)]

金銀比価=日本 (金 : 銀) ⇄ 外国 (金 : 銀)
→大量の金貨が流出

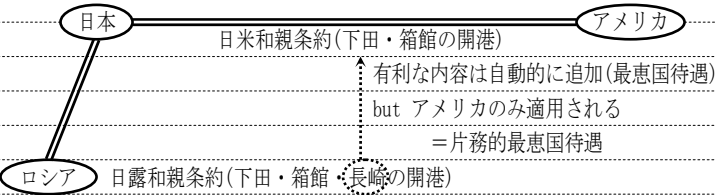
_____ 年 _____ 铸造 (金流出防止のため悪貨铸造)
貨幣の価値が下落したため物価高騰

[_____ (排外的政治運動)]

1860年 _____ (総領事ハリスの通訳) 暗殺
1861年 _____ 事件
↓
水戸藩浪士が江戸高輪のイギリス公使館を襲撃
1862年 _____ 公使館焼き打ち事件
_____ らが _____ のイギリス公使館を襲撃

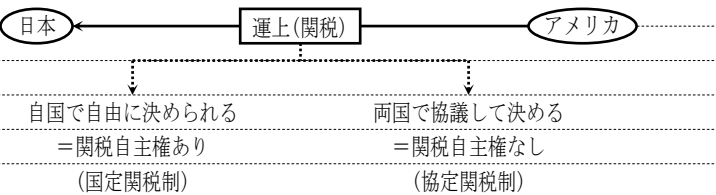
[NOTE]

<最惠国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、
第三国に与えている最も恵恩的な待遇と同等の待遇を与えること)>



<協定関税制>

品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載
輸入関税率=平均 20%→のち 5% by 改税約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品=0% (衣服・家財など)・5% (食糧など)・35% (酒類)・20% (その他)
輸出品=5% (輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)

